

2024年

## 3月▶4月の星空

プラネタリウム  
100周年

この図は

3/ 1 ▶ 22時  
3/15 ▶ 21時  
4/ 1 ▶ 20時  
4/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は4月1日)

北

○1等星

●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

☆惑星

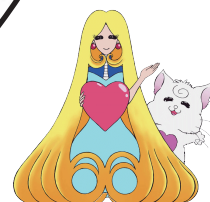
東

西

ふれあい科学館  
天体観望会

3/16 18:30~19:30  
4/13 18:30~19:30

場所: 郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

南

3月・4月の主な天文現象

3/25 半影月食  
3/25 水星東方最大離角  
4/22 4月こ座流星群極大  
4/上旬 ポン・ブルックス彗星

※上弦、下弦は半月です。

この時季、冬の星たちが西に見えるようになります。オリオン座が南の空にあるときはまっすぐ立つように見えていましたが、西にくるにつれ横向きになっていきます。時季による見え方の違いをお楽しみください。東の空からは1等星レグルスなどの春の星が昇ってきます。レグルスから目線を上げると「？」を裏返したような並びがあります。そこがしし座の頭になります。また、レグルスとふたご座の1等星ポルクスの間にかに座があります。明るく目立つ星はありませんが、ここにはM44(プレセペ星団)という散開星団があります。肉眼でもぼんやりとした広がりが見られ、双眼鏡や望遠鏡で見るとパラパラと星が散らばっている様子がわかります。そのまわりを囲むように4つの星があります。また、レグルスから北に行くと北斗七星があります。北斗七星はおおぐま座の背中からしっぽにあたり、そのしっぽのカーブを伸ばしてアークトゥルスとスピカを辿ることができます(春の大曲線)。

天文現象としては、3月25日に半影月食があります。夕方の東の空にわずかに暗い満月が昇ります。4月上旬はポン・ブルックス彗星が肉眼等級になると期待されています。夕方西の空で双眼鏡で探してみてください。21日に太陽に一番近いところを通過し、以降は日本では見られなくなります。



郡山市ふれあい科学館